

ASEAN の若き友人たち

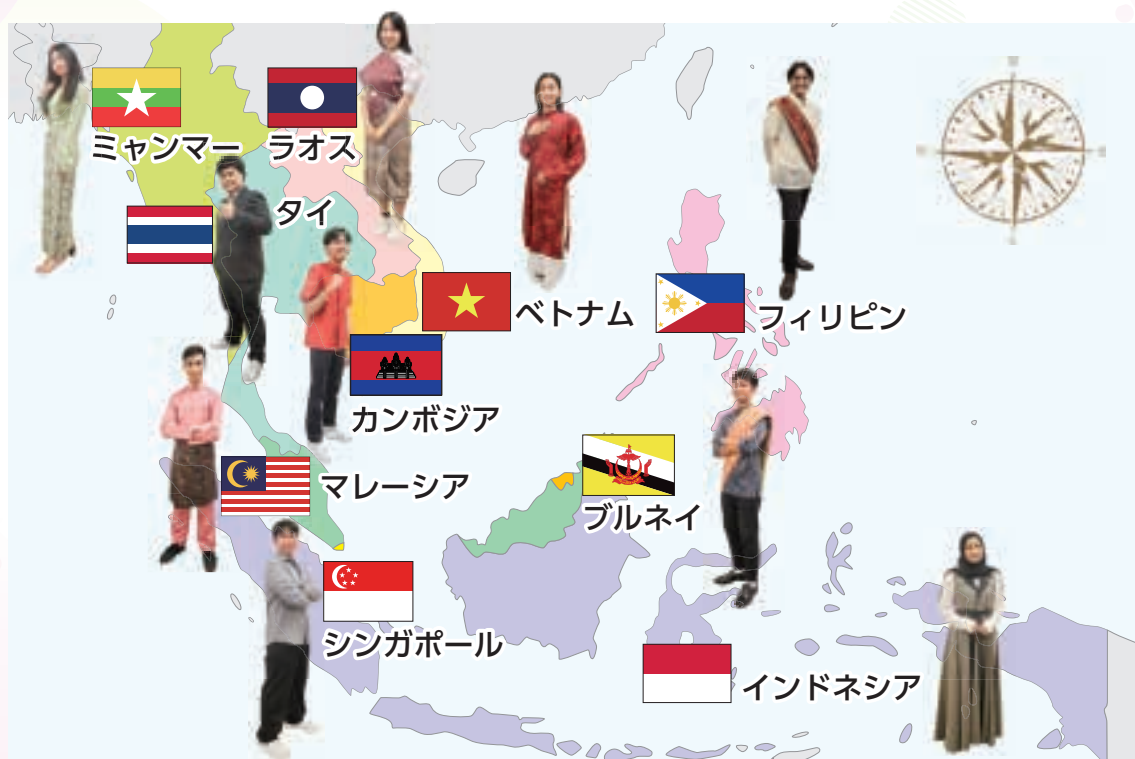
日外協の草の根国際交流

ASEAN10 カ国から 10 人が来日

日外協は 10 月 5 ～ 12 日、ASEAN 各国で行われた日本語スピーチ・コンテスト優秀者を日本に招く国際交流事業を行った。

ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム（国名アルファベット順）から 10 人が来日。ASEAN10 カ国からの招へいはコロナ禍前の 2019 年以来 6 年ぶりとなる。

元気な若者たちが、様々な交流プログラムを通じて日本を体験した。



ネットワークをさらに

日外協が国際交流事業を始めたのは 1986（昭和 61）年。交流の目的は、ASEAN の若い世代の人たちに日本への理解をより深めてもらい、将来、日本との架け橋になってもらうこと。今回で 39 回目になる。アジアの若者が日本語を学ぶより一層のモチベーションとなるようにとの思いで交流を重ね、これまでに約 400 人を招へい。その多くが日本での留学・就業や、母国にある日系企業への就職、日本語を学ぶ後進の育成など、母国と日本との間に友好と友情のネットワークを広げている。

Day1

各国代表者が日本に集結



Day2

日外協でオリエンテーション

ジェトロ(日本貿易振興機構) 訪問
高度外国人材就業促進事業セミナー

10月7日(火)PM ジェトロ(日本貿易振興機構)を訪問。知的財産部高度外国人材課の皆さんから、日本での就業に興味がある外国人材のためのレクチャー——①ジェトロの高度外国人材活用推進の取り組み、②日本の会社が皆さんに期待していること、③日本での就職活動について——を受ける。講師から「日本の企業で働きたい人は？」と聞かれると、メンバーの半数以上が手が上がった。

世界的な人材獲得競争が激しくなっている。日本にいる外国人留学生は 33 万 6 千人(高等教育機関 22 万 9 千人、日本語教育機関 10 万 7 千人)。ジェトロでは、日本での就活で情報弱者になりがちな外国人留学生に、有益なサービスを提供している。



Day3

清掃事業国際協力室 目黒清掃工場 訪問



早稲田大学 訪問
国際学生友好会(WIC)による
茶道体験

さらに WIC が交流する日本への留学生との交流会など、多彩なプログラムを企画・開催いただいた。



Day4

日本語講習会（講師：ヒューマンアカデミー日本語学校 高田 薫さん）



10月8日(水)AM 日本語講習会

3つのグループに分かれて、先生の質問に対してみんなで答えを考えて発表。
先生「日本語は難しいですか？ それはどうしてですか？」

みんなの答え

「アニメには出てこない、敬語や謙譲語・丁寧語が難しい。ビジネスの場では困ると思う」
「自分の国の言葉にはない発音がある」「丁寧な言葉遣いが苦手」……。

先生「日本語で一番好きな言葉は？」

みんなの答え

「一生懸命(後悔しないために)」「助けて(一人では生きてゆけない)」「……じゃん(言いやすい)」「かたじけない(武士の言葉だから)」「乗り越える(がんばって)」「すみません(謝罪にも感謝にも使える)」「きずな(支えてくれる人がいる)」「ありがとう」「愛」……。

みんな教科書的でない「生きた日本語」を使いこなしている。

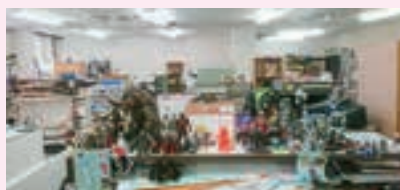
続いてスピーチ練習。先生からの指摘だけでなく、メンバー同士がアドバイスし合う光景も。インドネシアのコニタさんは、パワーポイント画面を使ってプレゼン形式でスピーチ。「ここに一枚の紙があります。この紙をぐしゃぐしゃにしています。元通りにしようとしても、しわがたくさん残ります」。しわだらけの紙の写真をスクリーンに映し出してスピーチすることになっていたが、他のメンバーたちが「写真より実際の紙を見せた方がよい」とアドバイス。コニタさんは、本番では真新しい紙を握りつぶしてプレゼン。大成功に終わった。



アドバイス通り
本番は実際に紙
をぐしゃぐしゃに



日本アニメーション(株) 製作スタジオ 訪問

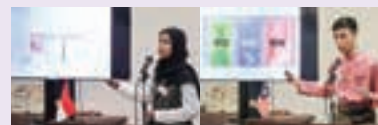


Day5

深川江戸資料館 訪問



第39回 日本語スピーチ発表会・交流会
(P.8 から詳報)



プレゼンテーション形式の発表も増えている



発表会后、関係者・各国大使館の皆さんと

Day6

東京ディズニーランド 招待

Day7

自由行動

Day8

帰国



発表会会場から
きれいに見える
東京タワー



各国代表者の皆さんからのメッセージ

国が違って、生活が違って、共通点が少なくても、私たちはお互いを愛することができるということに気がきました。
(ベトナム・エリオットさん)

本当に印象的な出会いです。こんなに仲良くなれるとは思っていませんでした。いつでも、私に連絡してください。いつか、また、どこかで会おう！
(フィリピン・ヨハンさん)

この1週間の経験は一生忘れないかもしれません。日外協からのお招きにすごく感謝します。ありがとうございました！ またいつかどこかで。
(マレーシア・ジェームズさん)

この出会いはきっと奇跡だと思います。皆さんの夢、自分の願い、やりたいことを見つけて、いつかかなうようお祈りいたします。私も一生懸命頑張ります。
(タイ・ボンドさん)

日本はとても楽しかったですが、皆さんに出会えたことがもっと嬉しかったです。いつかまた皆さんにお会いできることを願っています。
(カンボジア・トンボさん)

今までありがとうございました、カンベン。大学の授業(日本留学中)があって私は2回しか参加していませんが、いろいろと氣にかけてくださって本当に感謝しています。
(ラオス・ニーさん)

この1週間、本当にお世話になりました。ありがとうございます。こんなに楽しい旅行は、人生で初めての経験です。
(ミャンマー・スタキさん)

この1週間とても楽しかったです。人生の中で一番楽しい経験だった。最高の思い出。皆と出会えて本当に良かった。本当にありがとうございました。
(インドネシア・コニタさん)

上戸さん、いつも面倒見てくれてかたじけない。いろいろたくさんいっぱい勉強して、ここから次の生徒たちに大事な経験を分かち合います。
(ブルネイ・アイジさん)

1週間一緒に過ごただけなのに、こんなに仲良くなれるって、世界平和は本当に実現できるかもって思った。
(シンガポール・リンさん)

10カ国そろってのプログラムが実現



ASEAN 日本語スピーチ・コンテスト優秀者招へい事業
コーディネーター
日外協 国際人事センター 主幹 上戸 道夫

まず、プログラムに参加してくれた若者たち、また各国で日本語スピーチ・コンテストを開催された各団体の皆さま、加えて日本でのプログラム実行にあたってご指導、ご協力をいただいた皆さまに心より御礼を申し上げます。

今年は、しばらく日外協のプログラムと連携いただけたコンテストが開けなかったベトナムでも、駐日ベトナム社会主義共和国大使館、ハノイ大学のフオン教授、ハノイの FPT Software 社のご支援・ご尽力でコンテストが開催され、日本航空(株)ベトナム支店からのご援助を得て優勝者を迎えることができた。ようやく10カ国そろってのプログラムが実現したことに各国はもとより、ベトナムからの参加にご支援をいただいた各位に御礼を申し上げます。

今年も日本に対して「愛」と言ってもよい感情を

持ち、経済的な損得を考慮に入れない純粋な関心に促されて日本語を学ぶ面々が参加してくれた。



皆との最終日、ハグで名残を惜しむ

その多くが日本に住むことを心の片隅で夢見て、日本への留学や就職という選択肢に心をざわめかせている。そんな彼らに対し、今年はプログラムを通じて「日本人は一体どんな人たちなのか、日本の文化とはどんなものなのか」について考えてもらうことを心がけた。日本の生活で直面する諸事情のメカニズムを理解する材料を持ってもらいたかったからだ。ただ、この試みは私自身にも日本人のメンタリティーについて深く再考する機会となった。

彼・彼女らと過ごした1週間は昨今の「外国人問題」と言われることへの美しい解決に向けた我々のアプローチに大きな示唆を与えてくれたように思う。そのことについても参加してくれた彼・彼女たちに感謝したい。